

人手不足解消の切り札か 中国製機器の活用と課題

日本のモノづくりや物流の現場では人手不足が深刻化するなか、AGV（無人搬送車）、AMR（自律走行搬送ロボット）、協働ロボットなど中国製機器が存在感を高めています。

これらは単なる機器にとどまらず、DX、スマート化においては“頭脳”としての重要性も高まっています。この点で中国製は、ソフトウェア（フィジカルAI）の開発スピードや規模で世界を席巻し始めており、地理的に近い日本への影響は特に大きいと言えます。

こうした現状を踏まえ、このたび数々の物流センターの立ち上げや運用に従事されてきたNX総合研究所の川本文一シニア・コンサルタントをお招きし、標記講演会をします。

また講演会では近年日本（当地区）への進出を果たした中国系協働ロボットメーカーやシステムインテグレータ（SIer）による自社紹介も予定しております。

つきましては、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

日 時：8月6日（木） 15：00～16：45

開催方法：対面式

会 場：名古屋商工会議所ビル3階 第6会議室

講 師：川本 文一（株）NX総合研究所 シニア・コンサルタント

<プロフィール>

2006年 日本出版販売株式会社入社

物流センターの立ち上げ、運用改善に従事

2019年 株式会社タクテック入社

マテハン設備及び物流システムのソリューション
の提案営業に従事

2024年 株式会社NX 総合研究所入社



予 定：（講演の部）

①日本で浸透し始めた中国製機器の現状

②中国製の強み

③導入で注意すべき点

（企業紹介の部）

①Elite Robot Japan 株式会社

中国大手協働ロボットメーカー/エリートロボット（蘇州艾利特機器人股份有限公司）の日本法人

②三之信株式会社

三之信（天津）自動化設備有限公司の日本法人

システムインテグレータとして中国で蓄積したノウハウを日本でも提供

※事前に予告なく変更することがあります。

参 加 費：無料 ※会員限定

※募集を終了しました。

お問合せ：（一社） 東海日中貿易センター 業務グループ

TEL：（052）219-4820

（お知らせ）

お客様の個人情報については、当センターのプライバシーポリシー（<https://www.tokai-center.or.jp/privacypolicy>）に基づき、適正に管理させていただきます。